

近江八幡は
ガイドの案内で
八万倍面白い

第66番目宿場 中山道武佐宿コース



近江八幡観光ボランティアガイド協会編

<お問合せ・ガイドお申込>
JR 近江八幡駅北口観光案内所
TEL:0748-33-6061
FAX:0748-32-4125
<https://www.omi8guide.com>

START

JR 近江八幡駅 / 近江鉄道

▶ 近江鉄道八日市線に乗車。

● 約5分（電車）

近江鉄道 / 武佐駅

▶ ここからガイドが案内します。

● 西へ約6分（徒歩）

伊庭貞剛生家跡

▶ 住友の二代目総理事となり、現在の住友グループの基盤を築きました。樹齢400年と思われる大楠が見られ、根本には「武佐リンドウ」が植生しています。

● 東へ約7分（徒歩）

高札場跡

▶ 東西の出入口に2箇所あり、放火・賭博・盗み・喧嘩等禁止の掟を書き、民衆に読ませました。

● 約4分（徒歩）

松平周防守陣屋敷跡 道標

▶ 川越藩松平家の飛び地で、出張所の業務を課したとされています。道標は「いせ ミな口 ひの 八日市 道」の銘文があります。

本陣跡（下川家）

▶ 本陣は参勤交代の大名や幕府の役人、勅使、公家、皇族らの宿泊施設として使われた所で、現在は表門と土蔵のみが残っています。

伝馬所跡（現 武佐郵便局）

▶ 宿場の人馬の継立を行い、人足50人と馬50頭が常駐していたという。

商家（大橋家住宅）

▶ 武佐宿では最も古く19世紀初めの建物。米、油を商っていて、大壁造りで軒裏まで漆喰で塗り固め、袖うだつも見られます。

● 約5分（徒歩）

旧八幡警察署 武佐分署跡

▶ 明治19年建築の木造2階建てで、市の有形登録文化財に指定されています。

脇本陣跡（武佐町会館）

▶ 本陣に次ぐ重要な宿泊及び休憩施設で、本陣の補助的な役割がありました。

● 約2分（徒歩）

広濟寺（武佐寺東金堂）

▶ 聖徳太子建立の伝承があり、境内に伊達政宗公お手植えの紅梅の古木があります。

● 約3分（徒歩）

牟佐神社

▶ 江戸時代後半には武佐市神大明神と呼ばれて、商売繁盛を祈る市庭の神（市の神）として信仰をあつめました。

● 約1分（徒歩）

大門跡

▶ 大門は見附（みつけ）とも呼ばれ、武佐宿の東西入り口に関所として設置し通行税を徴収し、治安維持が目的で旅人や荷物の移動を監視しました。

● 西へ約25分（徒歩）

近江鉄道 / 武佐駅

▶ ここでガイドとお別れです。

● 約5分（電車）

JR 近江八幡駅 / 近江鉄道

GOAL

所要時間：約1時間30分
歩行距離：約2km

<武佐宿>
東西およそ1kmと細長い武佐宿は、伊勢へ通じる八風街道や八幡町内へ分岐する交通の要の宿場町です。
本陣1軒、脇本陣1軒、旅籠23軒がありました。

伊庭貞剛生家跡



本陣跡



大橋家



脇本陣跡

